

2014年3月7日(金)
開催

文部科学省 原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ
原子力安全規制・福島復興シンポジウム
東日本大震災・福島原発事故から3年

～原子力安全規制の今後のあり方と福島復興を考える～

概要

東日本大震災から2014年3月11日で3年を迎える。早稲田大学では、2011年5月に東日本大震災復興研究拠点を設立し、早稲田大学の知的共同体として叡智を結集し、被災地復興に貢献すべく研究を行ってきた。

本シンポジウムでは、震災より3年目を迎えた福島県からの現地報告に加え、原子力規制委員会(NRA)発足からの成果や日本の原子力安全規制の社会的評価を明らかにする。そして国際社会から課された福島の復興期限である2020年の東京五輪までに私たちに何ができるのか、福島県双葉郡からの参加者とシンポジウム参加者を交え、福島と日本の輝く未来へ希望を創る震災復興のあり方について共に考える。

日時・会場

主催：早稲田大学重点領域研究機構・東日本大震災復興研究拠点

共催：早稲田大学アジア太平洋研究センター

東京工業大学大学院社会理工学研究科

日時：2014年3月7日(金) 13:00-17:30

会場：早稲田大学19号館(早稲田大学西早稲田ビル) 710教室

講師：大島賢三(原子力規制委員会)、鬼頭秀一(東京大学)、
大手信人(東京大学)、森口祐一(東京大学)、島村守彦(いわき
おてんとSUN事業組合)、菅波香織(いわき未来会議)、平山勉

(相双ボランティア準備室)、蟹江憲史(東京工業大学)、
上田紀行(東京工業大学)、丹呉圭一(元国際協力銀行理事)、
勝田正文(早稲田大学)、師岡慎一(早稲田大学)、黒川哲志(早
稲田大学)、松岡俊二(早稲田大学)、中川唯(東京工業大学)

定員：50名(先着順・無料)

申込・問合せ：下記をご覧ください。

アクセス・地図



プログラム/PROGRAM

〈総司会：龍原梢(早稲田大学)〉

13:00 開会挨拶

深澤良彰(早稲田大学理事)

13:10 基調報告

松岡俊二(早稲田大学・教授・研究代表者)

13:30 <第1部>

日本の原子力安全規制～3年間で何が変わったか～

モデレーター：上田紀行(東京工業大学・教授)

コメンテーター：師岡慎一(早稲田大学・教授)

○特別講演

「原子力規制委員会の1年半を振り返って：

国際社会の中でのNRA」

大島賢三(原子力規制委員会・委員)

○講演

「日本の原子力安全規制の今後の課題」

鬼頭秀一(東京大学・教授)

○発表

「フランス地域情報委員会の調査報告」

中川唯(東京工業大学・後期博士課程)

14:50 休憩

15:10 <第2部>

3年間で変わったもの、変わらないもの。福島県からの報告。

モデレーター：勝田正文(早稲田大学・教授)

コメンテーター：黒川哲志(早稲田大学・教授)

丹呉圭一(元国際協力銀行・理事)

○講演

「足元から見る福島：森林汚染の現状と将来予測にむけて」
大手信人(東京大学・准教授)

○講演

「復興への途：避難指示解除に向けた
原子力規制委員会検討チームの議論から」
森口祐一(東京大学・教授)

○講演

「フクシマから日本の未来を創る」
島村守彦(いわきおてんとSUN事業組合・事務局長)
菅波香織(いわき未来会議代表・弁護士)
平山勉(相双ボランティア準備室)

16:30 <第3部>パネルディスカッション

○これまでの3年と今後の7年

～東京五輪の開催年(2020年)にむけた福島復興のあり方～

モデレーター：蟹江憲史(東京工業大学・准教授)

パネリスト：松岡俊二、上田紀行、師岡慎一、勝田正文、
黒川哲志、大手信人、森口祐一、島村守彦、他

17:20 閉会挨拶

松岡俊二(早稲田大学・教授・研究代表者)

申込/ENTRY

申込・問い合わせ先：jyuten-fukkou(アットマーク)list.waseda.jp(アットマークを@に修正し、送付してください。)

氏名(フリガナ)、所属先、メールアドレスを記載の上、上記メールアドレス宛てにお申し込みください(先着50名)